

海外安全対策情報（平成26年第2四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 政府の政策等に不満をもつ一部の団体によりデモや集会等も頻繁に開催されている。昨年9月には環境保護を標榜する団体が、審議中の法案に反対し小銃等を携行して政府庁舎付近で抗議活動を行った結果、銃が暴発するという事件も発生した。
- (2) 国内の経済成長に陰りが見え、貧富の差の拡大や資源ナショナリズム等から、外国人をターゲットとした暴力行為や強盗・窃盗事件が昼夜を問わず発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) モンゴル国警察庁から入手した本年4月から6月までの犯罪認知統計によると、総犯罪認知件数は6,893件と2013年の同時期に比べて9.9%増加となっており、犯罪増加傾向が継続している状況である。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	53件	(前年同期比20.1%増)
強盗	187件	(同9.4%増)
強姦	84件	(同6.7%減)
暴行・傷害	2,159件	(同13.6%増)
窃盗	2,007件	(同8.6%減)
ひったくり	63件	(同4.5%減)
詐欺	415件	(同56.6%増)

日本では、窃盗犯が全体犯罪認知件数の7割以上を占めるのに対し、モンゴルでは暴行・傷害といった粗暴犯が窃盗犯と同様に高い割合を占めており、また、人口比に対する殺人・強盗・強姦といった凶悪犯の認知件数が、日本の場合の約10倍も多いという傾向が見られる。(2013年中の統計)

- (2) 邦人被害事案

4月上旬の午後10時頃、邦人3人が飲食店から宿泊先ホテルに向かって路上を歩行中、見知らぬ男性複数人から顔面を殴られるなどの暴行を受け、うち1名が骨折等の傷害を負った。

- (3) 邦人以外の被害事案

特になし。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

発生なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。

(了)